



2022年3月8日
町田市立南つくし野小学校
校長 武藤 雄文
学校評価アンケート特集号

学校評価保護者アンケートの報告

12月から1月にかけて実施いたしました本校の教育活動についてのアンケートへのご協力ありがとうございました。いただいた回答・ご意見を基に、教職員で検討し、次年度以降の活動に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【アンケートの回答数】

アンケート発出時の児童数772名、回答数471名で、回答率は61%でした。

毎年行っている学校評価保護者アンケートですが、一昨年度初めてweb方式で実施したところ回答率が激減してしまいました。時期尚早と考え、昨年度は再び紙面形式に戻したところ、従来通りの8割以上の回答率が得られました。しかしながら社会の変化を考え、本年度からは各種アンケートをweb方式で実施する方向に舵を切り、今回はweb方式のみでの回答をお願いしました。今回の方式の変更に「ありがたい」という声をお寄せいただいた一方で、やはり回答率は下がってしまったため、今後は呼びかけの仕方を工夫し、アンケート回収率の増加に努めてまいります。

【アンケートのまとめと分析】(アンケート結果は、裏面に掲載しています。)

① アンケートの目的と項目変更について

昨年度まで継続していた13の項目に加えて、本年度から新たに5つの項目を加えています。このアンケートは、「学校が来年度の教育活動に反映させるため」という目的と併せて、「町田市が教育施策を検証し、今後の方針策定に反映させるため」という目的があります。そのため、コミュニティスクールとしての地域との連携の強化、英語学習(えいごのまちだ)、ICT活用、食育についての4観点5項目が市としての共通質問項目として追加されました。それを受けて、web方式でのアンケートは質問項目数が増えると回答率が低下することから、従来の質問項目を一部割愛することといたしました。

② 学校になかなか来られない中でのアンケートご協力に感謝いたします

昨年度に引き続き、今年も学校活動に大きな影響を与えたのは新型コロナウイルス感染症です。授業公開や大きな行事のタイミングに合わせるかのように緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出され、一昨年度までのように学校に来ていただく機会を提供することができませんでした。そのため、アンケートでも項目によっては「わからない、無回答」を選ぶ方が多く、「学校の様子が見られないから判断できません」というコメントもいただきました。その中で、お子様の様子から判断してアンケートにお答えいただいたこと、本当にありがとうございました。

③ マイナス傾向の項目

裏面の一覧の中で網掛け表示をしている部分が、肯定的評価が80%以下の項目や、前年度よりも3%以上低下した項目です。大きく下がった項目が、「4. 学校公開」「17. 中学校との連携」「18. 校内美化」でした。

4は実際に学校公開ができておらず、申し訳なく思っています。それでも、クロムブックのMEET機能などを活用して現状可能な限り様子の公開に努めてきたつもりで、その点を評価していただいたこともあり、ありがたいと思っています。ICTの活用は、保護者の方の中には学校の教員以上に詳しい方も多くいらっしゃり、そのような方から見たらもどかしい限りとは存じますが、来年度もICTを活用した学校公開の拡充に努めてまいります。17は、小学校と中学校の日常的な行き来が制限され、6年生が12月に中学校の説明会に出かけたことと、一部の教員がお互いの授業を交換で参観し合った程度のことしかできていません。コロナ禍の鎮静化を待って、新たに関係を構築していきます。18は、コロナ禍だったからこそトイレの汚れ、教室や廊下の汚れ、清掃回数が気になったことと存じます。なお、感染症対策の一つとして児童の清掃を一部制限していました。また、トイレ清掃は業者が変わったことで状況改善されてきていると思いますが、まだまだと受け止めて対応してまいります。

④ プラス傾向の項目

前年度よりも大きく上がった項目は、「14. ネットマナー」「7. 読書」「10. いじめ・体罰防止」でした。

14は大きな社会問題となっていることでもあり、現状を心配される声も届いていますが、学校からの情報提供、ご家庭での働きかけもあってこの一年間で大きく上昇していると感じます。7は、これまでも学校では「読書の時間」や「読書タイム」を中心に子供たちはしっかり本を読んでおり、本好きな様子が見られていたのですが、保護者アンケートでは肯定的評価が少なかったことを残念に思っていました。ただ、自宅でどれだけの本を読んでいるかは児童一人一人の差が大きいのではないかと感じています。10も大きな社会問題になったことで、本年度は情報発信を繰り返してきました。今年もいじめをなくすことは完全にはできず、ご心配をおかけしていますが、今後も早期発見・早期解決に向けて取り組んでまいります。とはいえ、これら3項目はいずれも肯定評価は高いとは言えず、今後も継続して努力してまいります。

◆保護者アンケート自由記述から◆

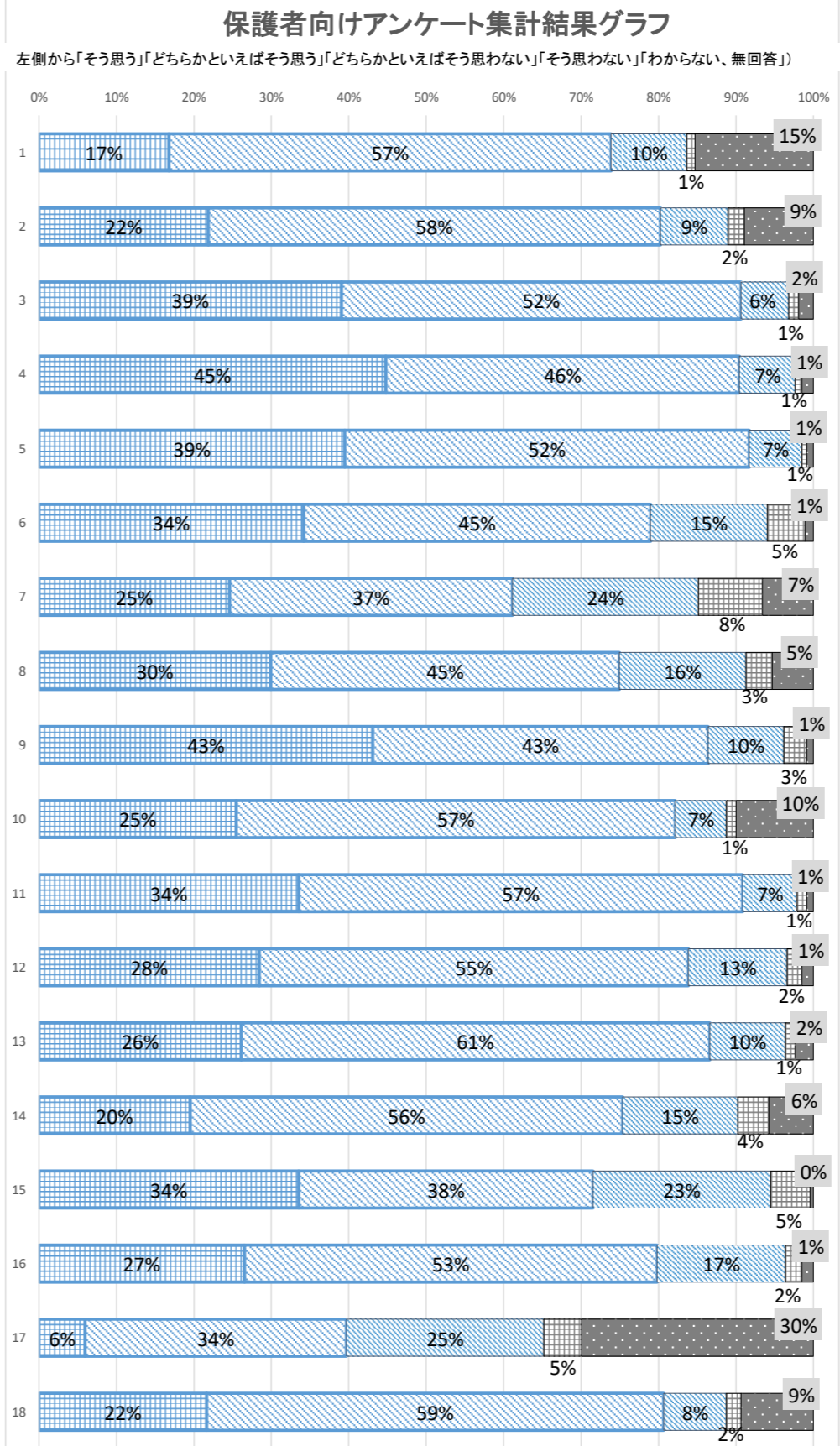
471名からの回答のうち、129名の方から自由記述でご意見をいただきました。肯定的なご意見、励ましの言葉、質問・疑問、改善要望など、様々でした。重なる内容はまとめさせていただき、代表的な意見（同じような内容が複数あったもの）を紹介させていただきます。

- ・コロナ禍でもいろいろ考えて対応してくれていることがありがたい。(24)
- ・楽しく学校に通っていて安心できる。(20)
- ・日常も問題発生時も、丁寧で早い対応をしてもらえて安心できる。(18)
- ・クロムブック一人一台体制、MEETなどでオンライン対応が進んだことがありがたい。(8)
- ・ホームページやメール、クラスルームや学級だよりで学校の活動や連絡がよくわかった。(6)

- ・ナビマが使いにくい。ドリルを購入して併用して使ってほしい。(9)
→本年度は算数ドリルの購入はできないこととされていました。来年度は購入できるよう依頼中です。
- ・トイレや校内が汚い。もっときれいに使ったり清掃したりしてほしい。(6)
- ・ICTの活用が不十分。授業や連絡でもっとしっかり使ってほしい。(6)
- ・ICTの導入はもっと慎重に。マナー違反やトラブルに発展する危険が心配。(5)
→使用上の注意を徹底しつつ、今年よりもいっそうの活用を進めていきます。
- ・授業参観をもっとしてほしい。行事をしっかりとやってほしい。(5)
- ・学校の実際の様子が変わらず不安だった。(5)
→校舎が狭く児童数が多いことや、コロナ不安で休ませる児童の比率が高い本校の状況から、学校に多くの人を入れられずご心配をおかけしました。来年度は今年よりも交流や公開を進めていきます。
- ・クラスによって学習の進め方や宿題の出し方に差がある。せめて学年で統一を。(5)
- ・丁寧な指導をしてほしい。学校にお願いしても改善されない。(4)
- ・特別支援に対する学校の理解の不足を感じる。(2)
→学級による違いは一定程度生じてしまいますが、可能な限り足並みをそろえ、丁寧に指導していくように努めます。特別支援への理解についても研修を重ねて期待に応えられるよう努めます。
- ・学校と家庭の連絡方法を改善してほしい。先生とメールで連絡とりたい。(3)
→教員にはメールアドレスがあてがわれておらず、保護者とのメール連絡は原則として禁止されています。従来からの連絡帳や電話に欠席連絡フォームが加わりましたが、欠席時に連絡を見つけれず学校から折り返しの連絡をしてしまったことがあり、申し訳ありませんでした。
- ・学習発表会など、ビデオを撮れるようにするか販売してほしい。(3)
→クラスルームやYouTube配信は市の方針として録画できないように設定されています。本年度はコロナ禍での行事の日程変更による準備時間の減少のために、劇を通して録画するのではなく、場面ごとに日時を変えて録画してつなぐことにしたため、専門業者を呼んで撮影・販売することができませんでした。次回の学習発表会ではまたビデオを撮影・業者販売を考えていきます。
- ・もっと学校開放してほしい。まちともを毎日してほしい。(3)
→学校開放は開校時の学校周辺住民の方との誓約から難しいとのこと。まちともは、見守り人員の確保が難しく、使用できるスペースもないため、コロナ禍の終息までは現状でしかできない状況です。校庭が広い学校や、空き教室がある学校とは同一には進められないことをご理解ください。
- ・地域や保育園・幼稚園の行事と重ねないでほしい。(2)
→つくし野中とは行事の調整をしていますが、数多くある保育園・幼稚園との調整は行っていません。
- ・子供の健康のためにマスクの強制は必要ない。(2)
→いろいろな考え方があることは理解していますが、マスク着用の呼びかけは国や教育委員会の指示としてご理解ください。

学校評価 保護者向けアンケート 評価項目と集計結果

評価項目			肯定率1 (「わからない」を含む)	前年度比較	肯定率2 (「わからない」を含まない)
(1) 学校やお子様の様子などからご回答ください。	ア 社会現に開かれた教育課程のこと	①学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている	73.9%	新規項目	87.2%
		②学校は地域と一体となって子どもたちを育てている。	80.3%	新規項目	88.1%
		③学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。	90.7%	0.8%	92.4%
		④学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。	90.4%	-5.3%	91.8%
	イ 確かな学力の育成に関する事	①お子様は、各教科の基礎的・基本的なことが身に付いてきている。	91.7%	-0.2%	92.5%
		②お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。	79.0%	-0.5%	79.8%
		③お子様は、学校ですすんで読書をしている。	61.1%	8.3%	65.5%
		④お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。	74.9%	新規項目	79.1%
		⑤お子様は、ICT(学習機器)を積極的に活用している。	86.4%	新規項目	87.2%
	ウ 豊かな心の涵養(心の教育及び生活指導を含む)に関する事	①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人權を大切にしている。	82.2%	8.1%	91.3%
		②お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。	90.9%	3.2%	91.6%
		③お子様は、あいさつをきちんとしている。	83.9%	-0.8%	85.1%
		④お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。	86.6%	-1.3%	88.7%
		⑤お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。	75.4%	19.6%	80.0%
	エ の工育健康にや関係する体	①お子様は、日常的に、運動やスポーツ(遊びや部活動を含む)に積極的に取り組んでいる。	71.5%	1.3%	71.9%
		②お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。	79.8%	新規項目	81.0%
	フ いっしょに2つのご保護者様からご意見をいただく方が感じやすいこと	①学校は、つくし野中学校と連携して教育活動に取り組んでいる。	39.7%	-4.8%	56.7%
		①学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。	80.7%	-5.9%	89.0%



ア. 社会に開かれた教育課程の実現に関する事

①②は、学校に実際に来ていないことからわかりにくかったと思います。昨年度は外部人材の登用がほとんどできずでしたが、本年度は一昨年度に近い形で地域の方に来ていただき、児童への指導や児童との交流をしていただきました。ただ、学校に来ていただきながら、児童とは別室で校内MEET配信で講演していただくなど、従来のような直接交流は数を減らしています。④は昨年度よりも低下してしまいましたが、③④ともに90%以上の方から肯定的評価をいただきましたことをありがたく思っています。授業参観を実施できなかったことを申し訳なく思っていますが、諸行事については公開できる形を考えた可能な限り実施してきたつもりです。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で、行事日時の一週間の違いが形態の違いにつながることもありましたが、来年度は、直接公開の推進とクラスルームのいっそうの活用を進めたいと考えます。

イ. 確かな学力の育成に関する事

③の読書に関しては、表面で書いた通りです。①②については昨年度と大きく変わっていません。新規項目となった④⑤ですが、子供たちの自己評価ではいずれも9割以上の児童が楽しく学び、積極的に活用できていると答えています。もっとも、子供の自己評価は肯定的に評価しがちな子が多いため、実際はこのような状況なのかもしれません。この2年間の本校の研究テーマが外国語＝英語であっただけに、④はもう少し評価いただければと願っていましたが、これを受け止めて、今後も「えいごのまちだ」を体現すべく努めてまいります。

ウ. 豊かな心の涵養(心の教育や生活指導)に関する事

①のいじめや体罰防止への対応同様に、②のきまりの順守についても全般的に良い評価となっています。ただ、この項目は1件でも問題が発生すると他へ与える影響が強い項目です。自由記述に課題として書かれていた内容も生じていることを自覚して、改善に取り組んでまいります。③のあいさつや④の安全意識は、取組や児童の実態はおおよそ良いものの、今年も近隣の方や運転されている方から苦情が寄せられることがありました。あいさつについては月々の生活目標のかなりの部分を用いて、今年も指導してきました。⑤についても、大幅に改善したとはいえず常に危険と隣り合わせと考えます。特に高学年への啓発を、今後もご家庭と力を合わせて継続していきたいと考えます。

エ. 健やかな体の育成に関する事

①は、校庭の密を避けるために、一日の中で外遊びできる休み時間が制限され、学校での運動の機会や量が減ってしまっているのが実情です。外遊びを渴望する児童が多い状況ですが、ルールを守って気持ちをコントロールして過ごさせています。体育の時間も、マスクを外さない児童が圧倒的に多く、担任がマスクを外させるのに苦労するほどでした。②については、黙食の徹底を指導してきました。「楽しく語らいながら食べさせてあげたい」という保護者意見もありましたが、新しい食習慣の徹底という観点から現状を継続していきます。